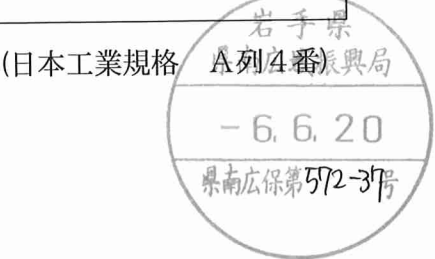
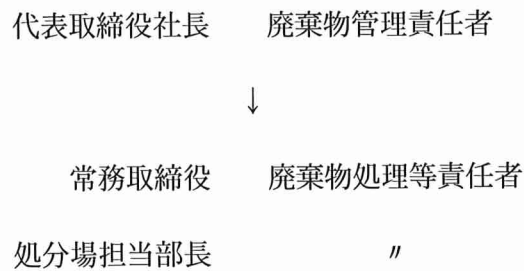


産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 18 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県奥州市水沢佐倉河字慶徳71番地 氏 名 EC南部コーポレーション株式会社 代表取締役 菅原 正聡 電話番号 0197-22-2255	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	EC南部コーポレーション株式会社
事業場の所在地	岩手県奥州市水沢佐倉河字慶徳71番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 産業廃棄物処理業
② 事業の規模	売上高 約 2 6 億円
③ 従業員数	1 0 0 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	当社施設奥州エコリサイクルセンターにて破碎後、 ・がれき類、ガラス陶磁器くず・・・再生砕石材として自社工事に使用、あるいは販売。最終処分・破碎・再生施設へ委託 ・木くず、繊維くず・・・燃料チップ・敷き料として販売。焼却施設へ委託 ・廃プラスチック、紙くず、金属くず・・・焼却・再生施設へ委託



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙	
	(これまでに実施した取組) 別紙		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙	
	(今後実施する予定の取組) 別紙		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、がれき、廃プラ、ガラス陶磁器、紙くずの徹底した分別管理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) _____

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙	
	(これまでに実施した取組)		
	別紙		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙	
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙	
	(今後実施する予定の取組)		
別紙			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙	
	(これまでに実施した取組)		
	別紙		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙	
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	別紙	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙	
	再生利用業者への処理委託量	別紙	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙	
	(これまでに実施した取組)		
	別紙		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全 処 理 委 託 量	別紙	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙	
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙		
※事務処理欄			

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状			②計画	
【前年度(令和5年度)実績】			【目標】	
産業廃棄物の種類	排	出 量	排	出 量
がれき類		13941.63 t		13000.0 t
木くず		1105.72 t		1000.0 t
繊維くず		86.97 t		80.0 t
紙くず		29.64 t		25.0 t
金属くず		1.96 t		1.0 t
廃プラスチック		216.13 t		200.0 t
ガラス陶磁器くず		373.75 t		300.0 t
水銀使用製品産業廃棄物		0.41 t		0.2 t
引火性廃油		0.10 t		0 t
廃油		0 t		0 t
廃石綿		0.70 t		0 t
燃え殻		0 t		0 t
石綿含有産業廃棄物		31.59 t		30.0 t
汚泥		2.26 t		2.0 t
廃アルカリ		0.25 t		0.1 t
(これまでに実施した取組)			(今後実施する予定の取組)	
各工事現場において廃棄物の排出を抑制するように努めた			土木工事あるいは建築工事の現場において、材料のあまりなど余計な排出を減らす	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状		②計画
【前年度(令和5年度)実績】		【目標】
産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
がれき類	13080.11 t	12000.0 t
木くず	953.66 t	950.0 t
繊維くず	2.61 t	2.0 t
紙くず	0 t	0 t
金属くず	1.42 t	1.0 t
廃プラスチック	0.53 t	0.5 t
ガラス陶磁器くず	0 t	5.0 t
水銀使用製品産業廃棄物	0 t	0 t
引火性廃油	0 t	0 t
廃油	0 t	0 t
廃石綿	0 t	0 t
燃え殻	0 t	0 t
石綿含有産業廃棄物	0 t	0 t
汚泥	0 t	0 t
廃アルカリ	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)
自社で処理したものについてはリサイクル、売却している		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

熱 回 収	①現状		②計画	
	【前年度(令和5年度)実績】		【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	
	がれき類	0 t	0 t	
	木くず	0 t	0 t	
	繊維くず	0 t	0 t	
	紙くず	0 t	0 t	
	金属くず	0 t	0 t	
	廃プラスチック	0 t	0 t	
	ガラス陶磁器くず	0 t	0 t	
	水銀使用製品産業廃棄物	0 t	0 t	
	引火性廃油	0 t	0 t	
	廃油	0 t	0 t	
	廃石綿	0 t	0 t	
	燃え殻	0 t	0 t	
	石綿含有産業廃棄物	0 t	0 t	
	汚泥	0 t	0 t	
	廃アルカリ	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)	
	_____		_____	
中 間 処 理 に よ る 減 量	①現状		②計画	
	【前年度(令和5年度)実績】		【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	
	がれき類	0 t	0 t	
	木くず	0 t	0 t	
	繊維くず	0 t	0 t	
	紙くず	0 t	0 t	
	金属くず	0 t	0 t	
	廃プラスチック	0 t	0 t	
	ガラス陶磁器くず	0 t	0 t	
	水銀使用製品産業廃棄物	0 t	0 t	
	引火性廃油	0 t	0 t	
	廃油	0 t	0 t	
	廃石綿	0 t	0 t	
	燃え殻	0 t	0 t	
	石綿含有産業廃棄物	0 t	0 t	
	汚泥	0 t	0 t	
	廃アルカリ	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)	
	_____		_____	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状		②計画
【前年度(令和5年度)実績】		【目標】
産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った産業廃棄物の量	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行う産業廃棄物の量
がれき類	63.06 t	50.0 t
木くず	0 t	0 t
繊維くず	0 t	0 t
紙くず	0 t	0 t
金属くず	0 t	0 t
廃プラスチック	18.91 t	15.0 t
ガラス陶磁器くず	142.22 t	130.0 t
水銀使用製品産業廃棄物	0 t	0 t
引火性廃油	0 t	0 t
廃油	0 t	0 t
廃石綿	0 t	0 t
燃え殻	0 t	0 t
石綿含有産業廃棄物	26.04 t	20.0 t
汚泥	0 t	0 t
廃アルカリ	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)
<hr/>		埋立処分せずにリサイクルする よう努める

産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
①現状	【前年度(令和5年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	金属くず	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	水銀使用製品 産業廃棄物	引火性 廃油	廃油	廃石綿	燃え殻	石綿含有産業廃棄物	汚泥	廃アルカリ
	全処理委託量(t)	795.09	152.06	84.36	29.63	0.54	192.57	231.53	0.41	0.1	0	0.70	0	5.09	2.26	0.25
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	2.16	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への 処理委託量	716.45	151.47	0		0.29	0	49.30	0	0	0	0	0	0	2.26	0.25
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	45.54	10.72	0	81.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0.59	37.71	18.91	0	105.73	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) _____															
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	金属くず	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	水銀使用製品 産業廃棄物	引火性 廃油	廃油	廃石綿	燃え殻	石綿含有産業廃棄物	汚泥	廃アルカリ
	全処理委託量(t)	990.0	50.0	78.0	25.00	0	180.0	150.0	0.20	0	0	0	0	10.0	2.0	0.1
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への 処理委託量	990.0	50.0	0	0	0	0	40.0	0	0	0	0	0	0	2.0	0.1
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	78.0	20.0	0	150.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	5.00	0	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) _____															

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	143.00	t
	115.00	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	14,038.33
	12,958.50

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	107.23
	100.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	919.73	t
	1082.10	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

	137.89	
⑬	248.00	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	162 94
---------------------	--------

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

	1,494.59
⑩	1,495.20

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	2.16
	2.00

自ら中間処理
する量

④	14,218.83	t
	13,241	

自ら中間処理した 後の残さ

⑥	14,218.83	t
	13,241	

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

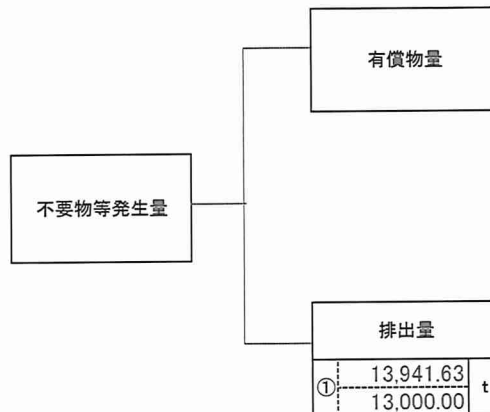
⑦	0	
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	15,791.11	t
	14,638.30	
②+⑧自ら再生利用を行った量	14,038.33	t
	12,958.50	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	250.23	t
	215.00	
⑩全処理委託量	1,494.59	t
	1,485.30	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.16	t
	2.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	919.73	t
	1082.10	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	162.94	t
	35.00	

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき類)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	13,941.63 13,000.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	13,080.11 12,000.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	63.06 50.00	t
⑩全処理委託量	795.09 990.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	716.45 990.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0	t

自ら直接 再生利用する量	
② 0 0	t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③ 50.54 40.00	t

自ら中間処理 する量	
④ 13,096.00 12,010.00	t

④のうち熱回収 を行う量	
⑤ 0 0	t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥ 13,096.00 12,010.00	t

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦ 0 0	t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧ 13,080.11 12,000.00	t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨ 12.52 10.00	t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩ 795.09 990.00	t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪ 0 0	t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫ 716.45 990.00	t

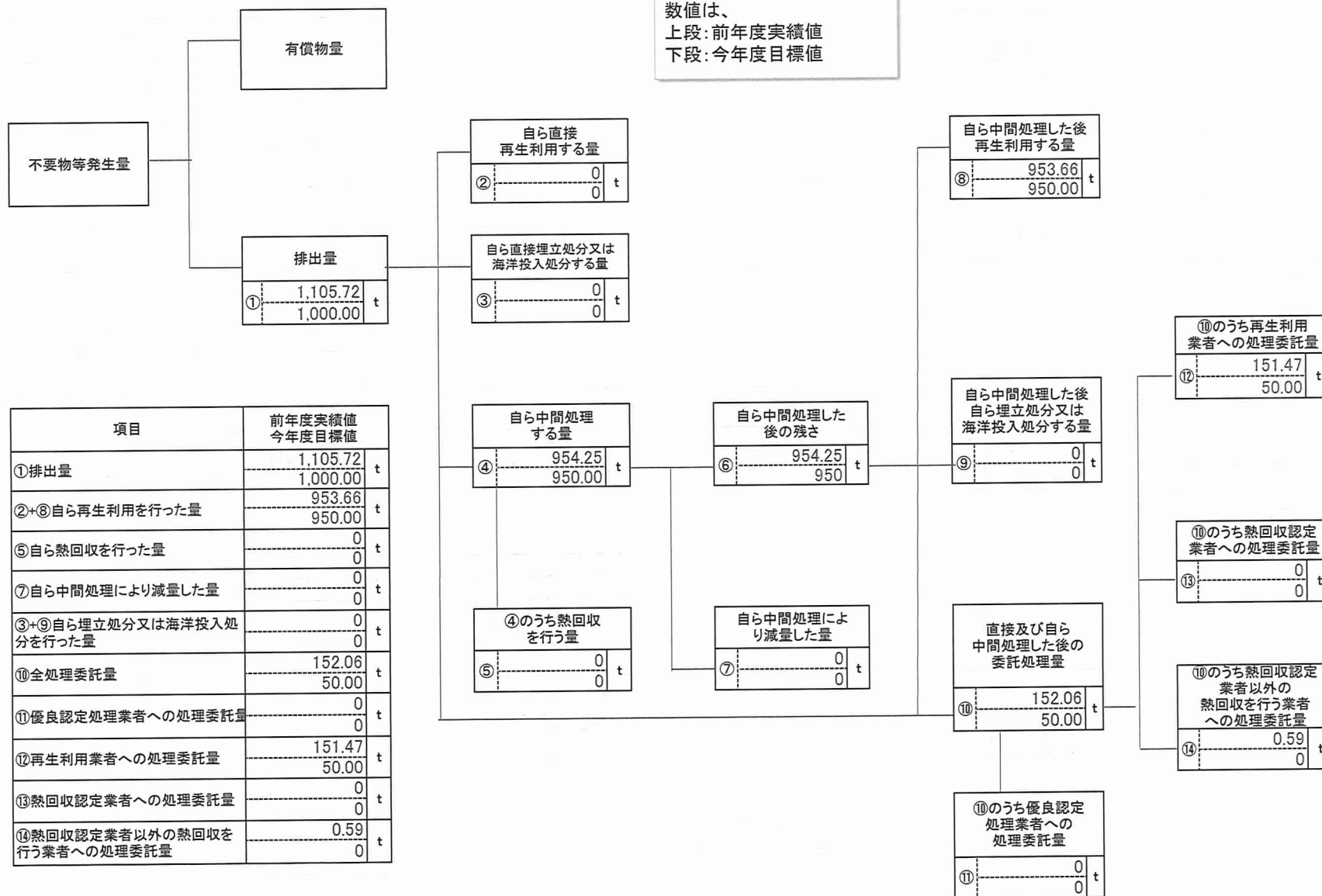
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬ 0 0	t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭ 0 0	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



絨維くず

不要物等発生量

排出量

②	0	t
	0	

③	0	t
---	---	---

⑧	2.61	t
	2.0	

⑨	0	t
	0	

(10)	84.36	+

⑪	0	t
---	---	---

12	0	t
	0	

(13)	45.54	t
	78.00	

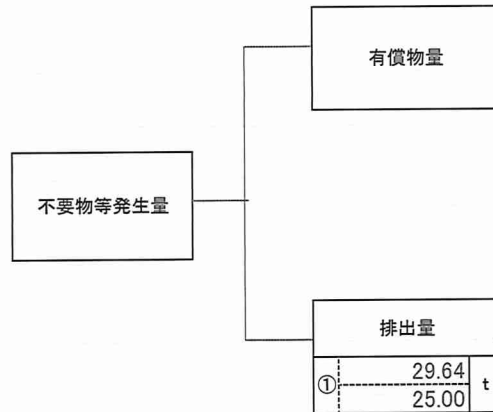
⑭	37.71	t
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	86.97 80.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	2.61 2.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	84.36 78.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	45.54 78.00	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	37.71 0	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



自ら直接再生利用する量

② 0 / 0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③ 0 / 0 t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ 0 / 0 t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	29.64	25.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	29.63	25.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	10.72	20.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.91	5.00

自ら中間処理する量

④ 3.60 / 3.00 t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ 3.60 / 3.00 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨ 0 / 0 t

④のうち熱回収を行う量

⑤ 0 / 0 t

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0 / 0 t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 29.63 / 25.00 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0 / 0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 10.72 / 20.00 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 18.91 / 5.00 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0 / 0 t

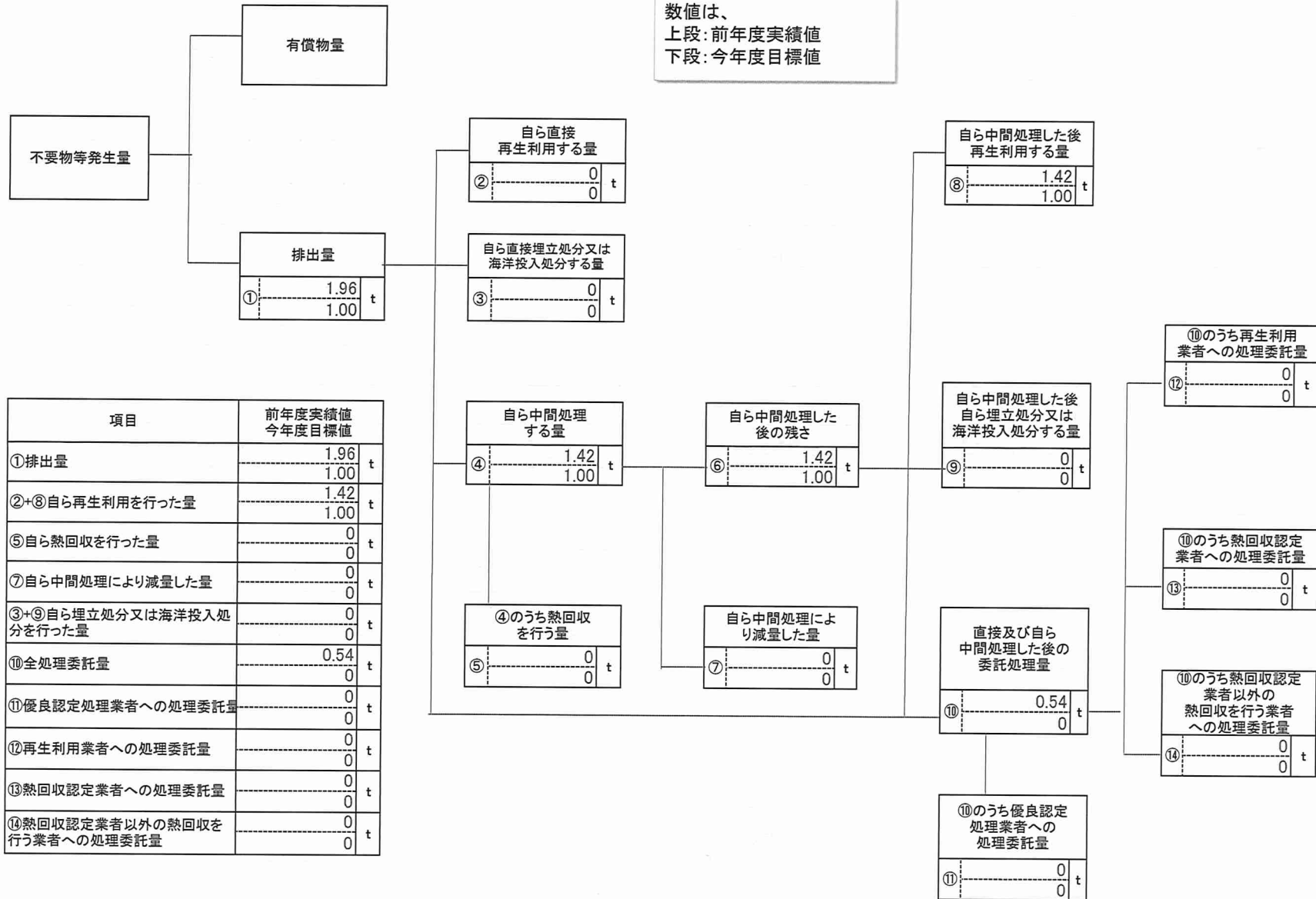
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

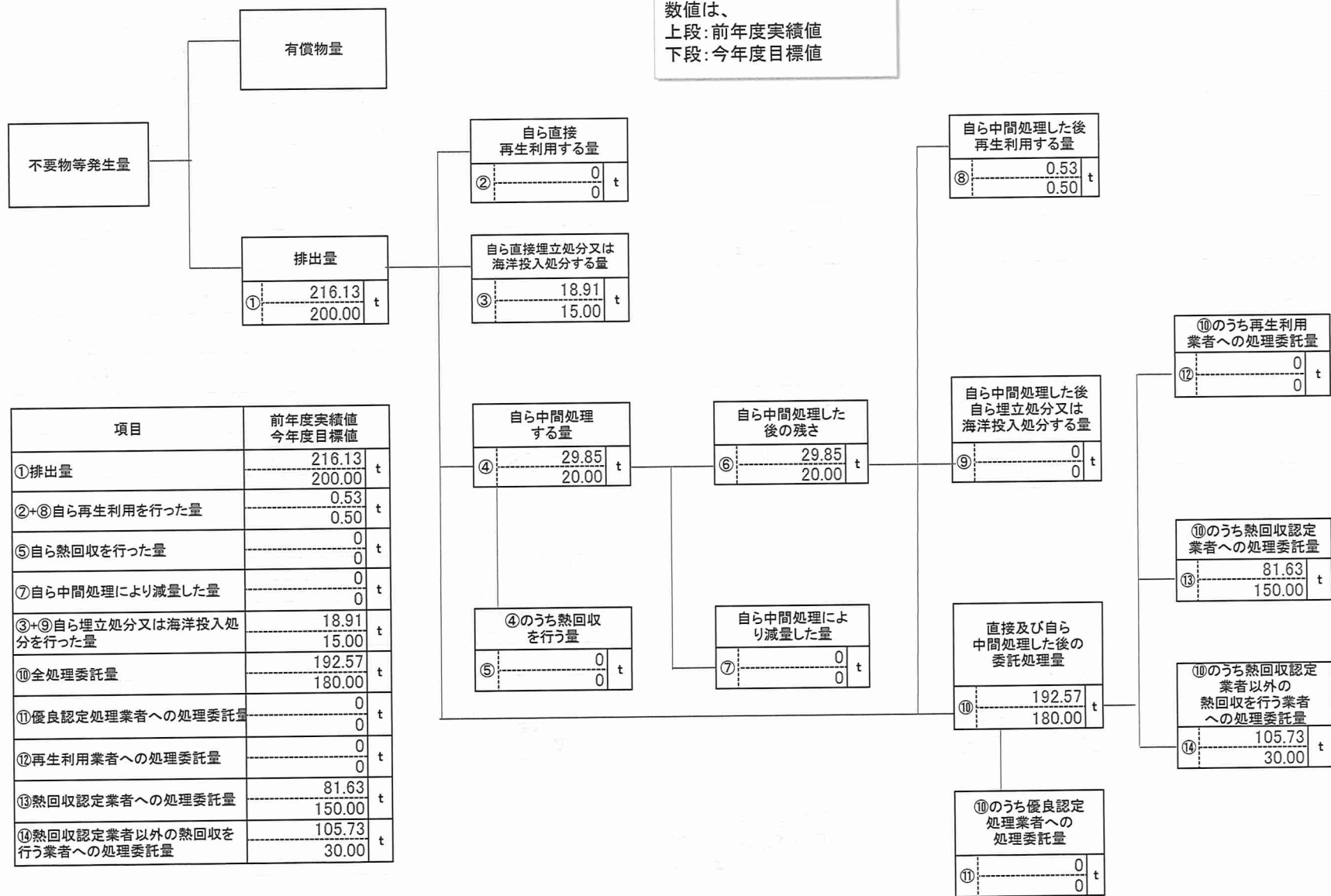
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



ガラス陶磁器くず

不要物等発生量

有償物量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	47.51	t
	10.00	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
	5.00	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	94.71	t
	90.00	

自ら中間処理
する量

④	116.13	t
	240.00	

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	116.13	t
	240.00	

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

(10)	231.53	+
------	--------	---

	150.00
--	--------

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	2.16	t
	2.00	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	49.30	t
	40.00	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の

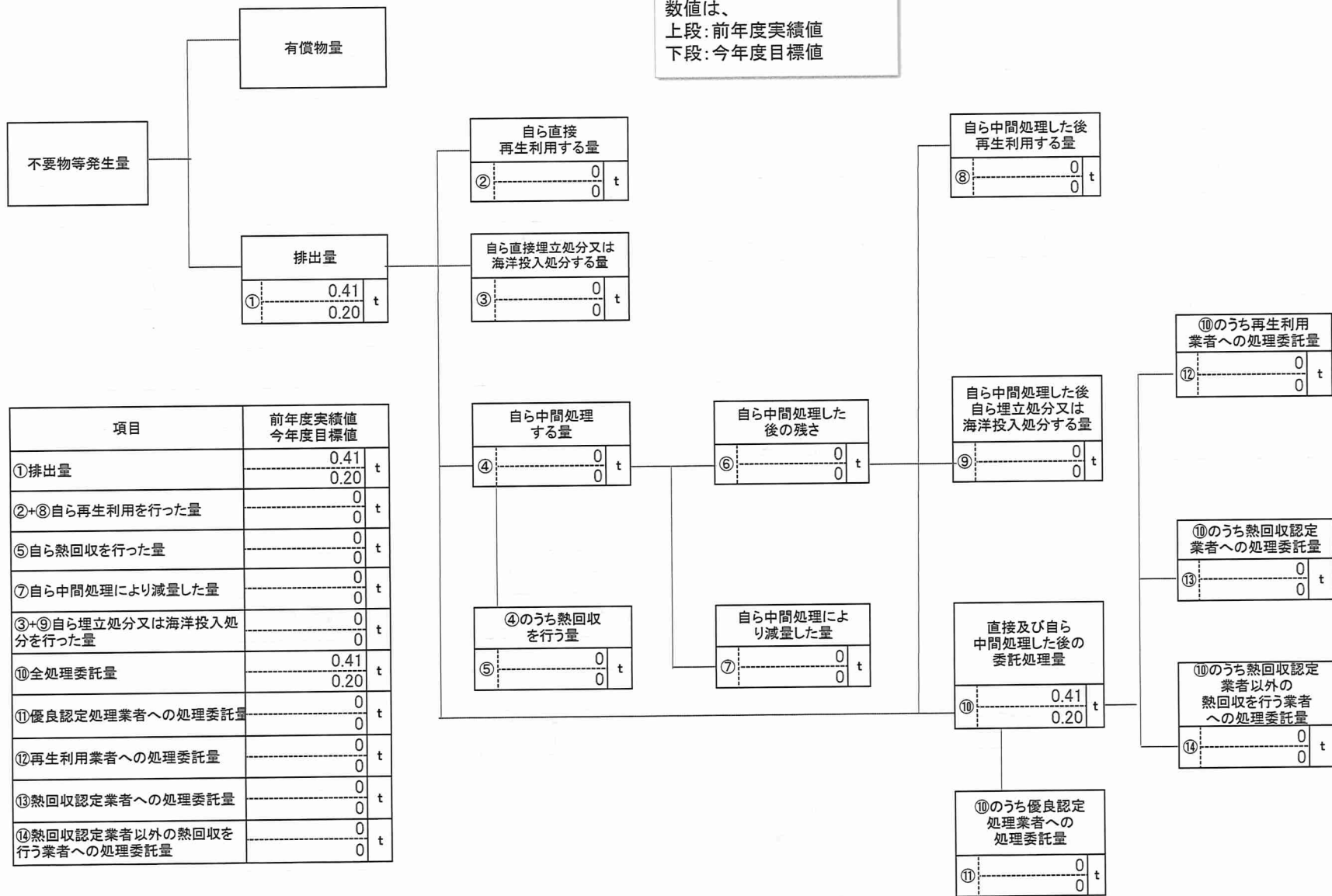
熱回収を行う業者 への処理委託量	
1	2

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	373.75 300.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 5.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	142.22 130.00	t
⑩全処理委託量	231.53 150.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.16 2.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.30 40.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



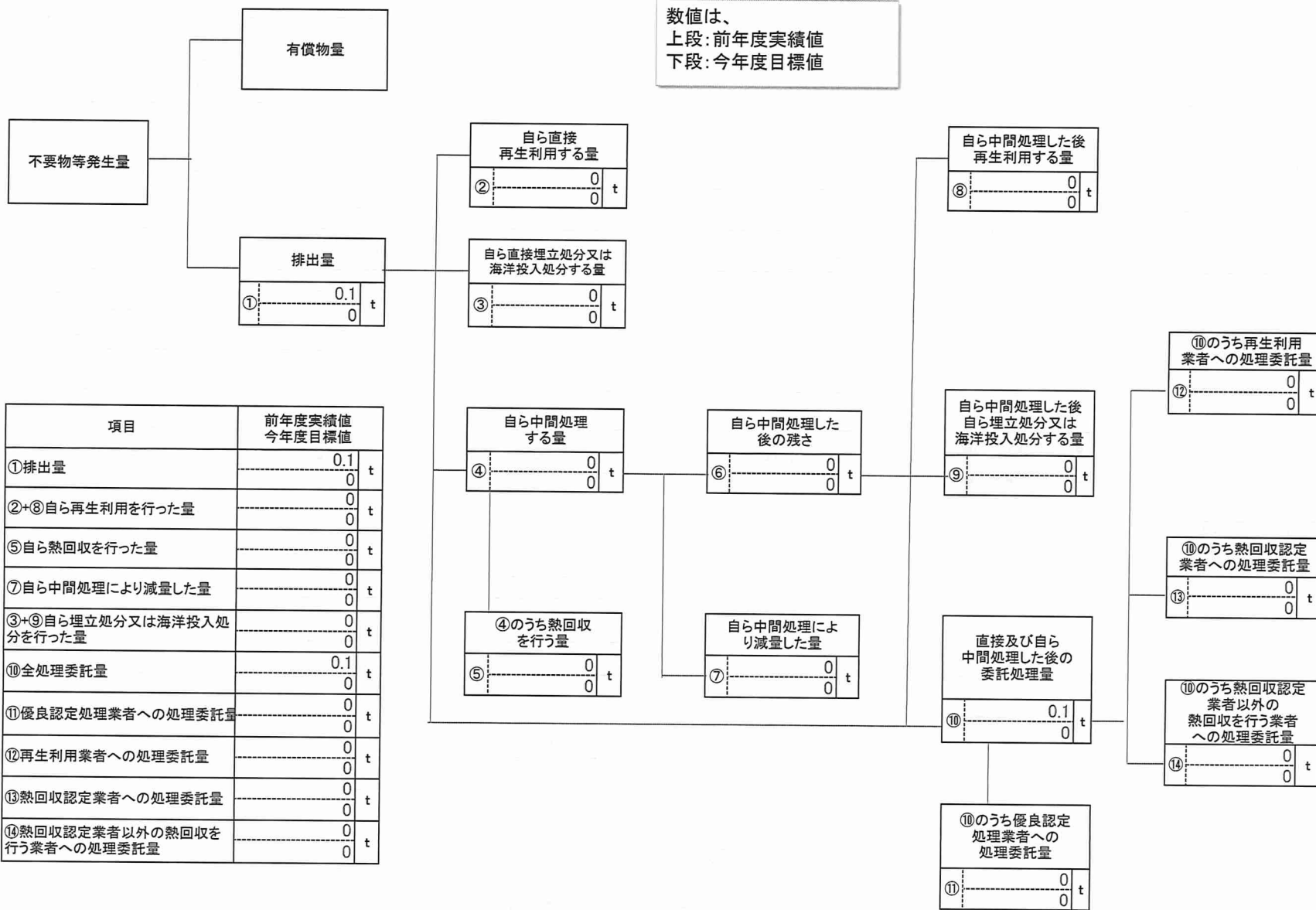
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:

引火性廃油

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃油)

有償物量

不要物等発生量

排出量

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	0	0	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩全処理委託量	0	0	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	t

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

② 自ら直接再生利用する量

	0	
	0	t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

	0	
	0	t

④ 自ら中間処理する量

	0	
	0	t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

	0	
	0	t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量

	0	
	0	t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ

	0	
	0	t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

	0	
	0	t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

	0	
	0	t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

	0	
	0	t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

	0	
	0	t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

	0	
	0	t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

	0	
	0	t

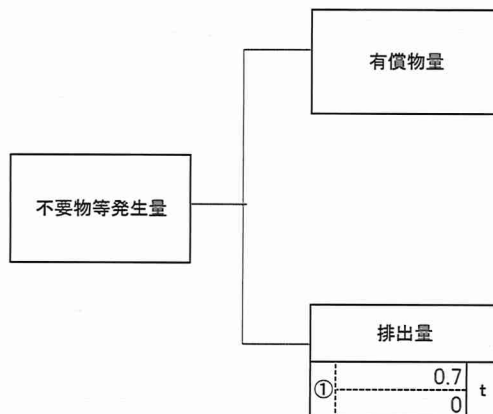
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

	0	
	0	t

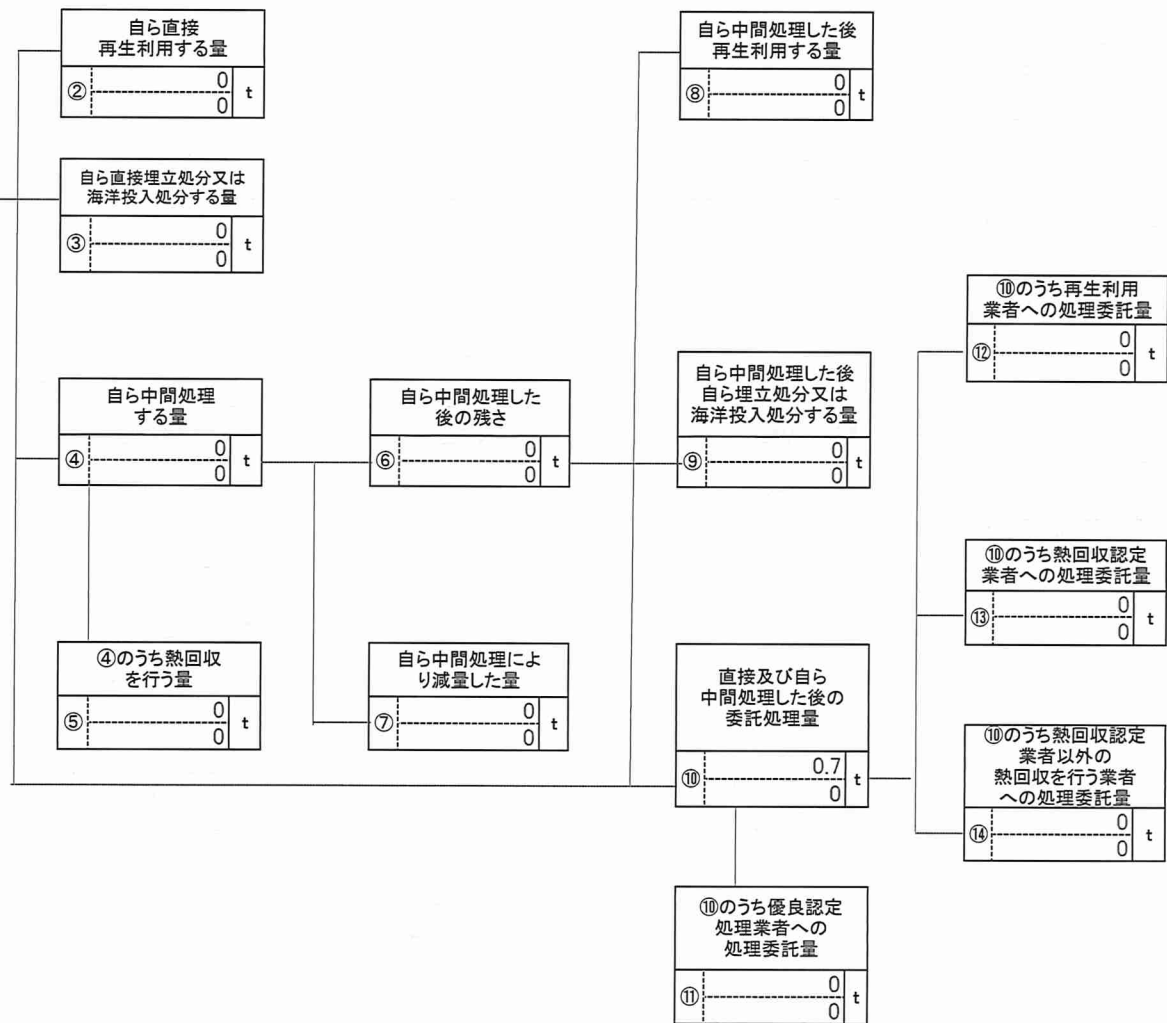
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石綿)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.7	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	0.7	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0



(産業廃棄物の種類: 燃え殻)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
---	---	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	$\frac{0}{0}$	t
---	---------------	---

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
---	---	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0	t
---	---	---

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	0	
---	---	--

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

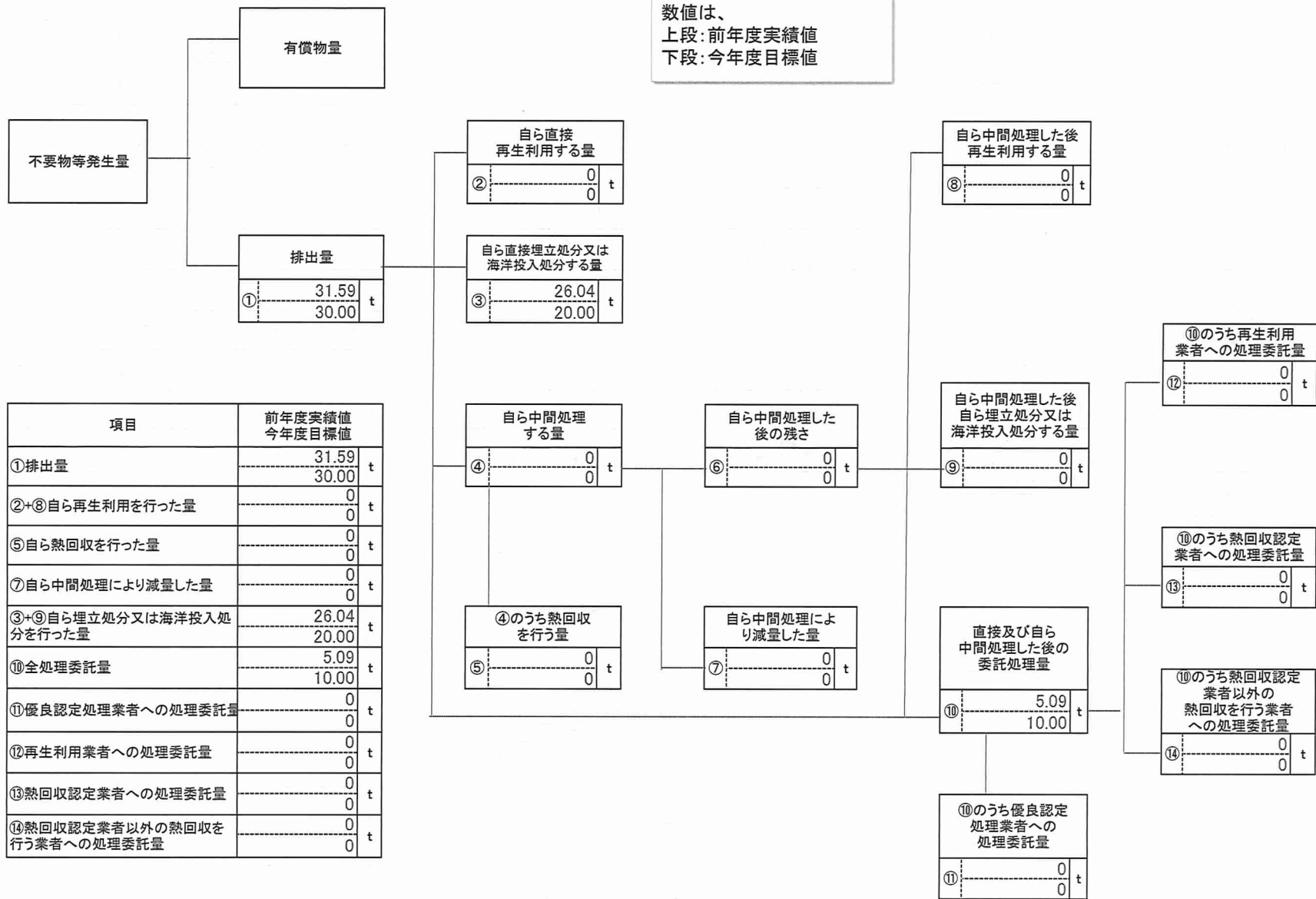
⑪	0	
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0 0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	0 0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0 t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

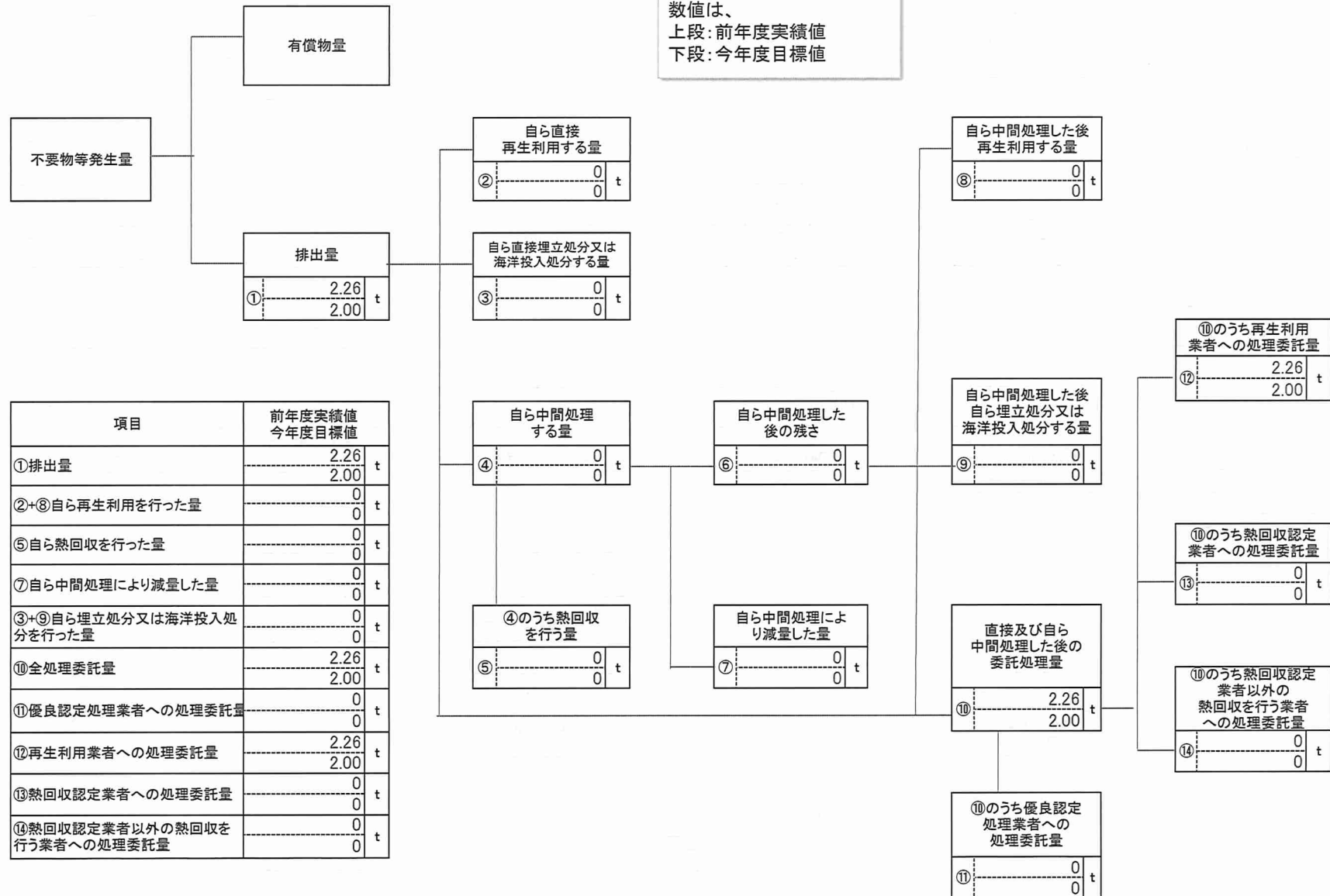
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

